

はじめに

平成23年3月に発生した東日本大震災の教訓や、近い将来発生が予想される南海トラフ巨大地震への対策の必要性を踏まえた、学校における防災教育・防災管理の大切さは、改めて言うまでもありません。

このため、本年度、愛媛県教育委員会では、次世代を担う児童生徒等に発達段階に応じた「自助から共助への防災教育」を展開するため、「学校総合防災力強化推進事業」を実施してまいりました。

東・中・南予の小・中学校各1校（計6校）及び高等学校と特別支援学校各1校の計8校を実践モデル校として指定し、防災科学技術を活用した避難訓練等の実践や、児童生徒等の発達段階に応じた防災教育を推進するとともに、地域の関係機関との連携を強化し、より実践的な地域ぐるみの防災教育に取り組んできたところです。

また、愛媛大学防災情報研究センターの全面的な協力を得て、矢田部 龍一センター長ほか4名の防災の専門家を「学校防災アドバイザー」として委嘱するとともに、県内全20市町において開催された防災教育推進連絡協議会に派遣し、防災専門家のタイムリーな知見を学校現場や自治体にアドバイスいただきました。協議会では全ての学校の防災マニュアルの改善を図るとともに、各学校に加え市町の危機管理担当部局、消防、警察等関係機関も参加し、事前の危機管理の備えから学校再開までの事後の対策の在り方等について具体的な議論が展開されました。これまで情報交換や連携が必ずしも十分でなかった関係者が一堂に会したことで、互いに抱える課題を共有するとともに連携を促進することができ、今後、地域に根ざした防災教育を推進する基盤づくりにつながりました。

本書は、8校の実践モデル校が取り組んだ防災教育の研究成果のほか、各種研修会での防災の専門家による資料、学校防災マニュアルを作成する際の確認チェック表等、各学校における防災教育・防災管理の参考となる資料を取りまとめたものです。

各学校の管理職及び防災管理担当者の皆様におかれましては、本書を有効に活用していただき、学校における防災教育の充実と適切な防災管理に役立てられることを念願しています。

末尾となりましたが、本書の作成に当たり資料を提供いただきました講師の先生方及び関係の皆様方に、心から感謝申し上げます。

平成25年2月

愛媛県教育委員会教育長 仙波 隆三